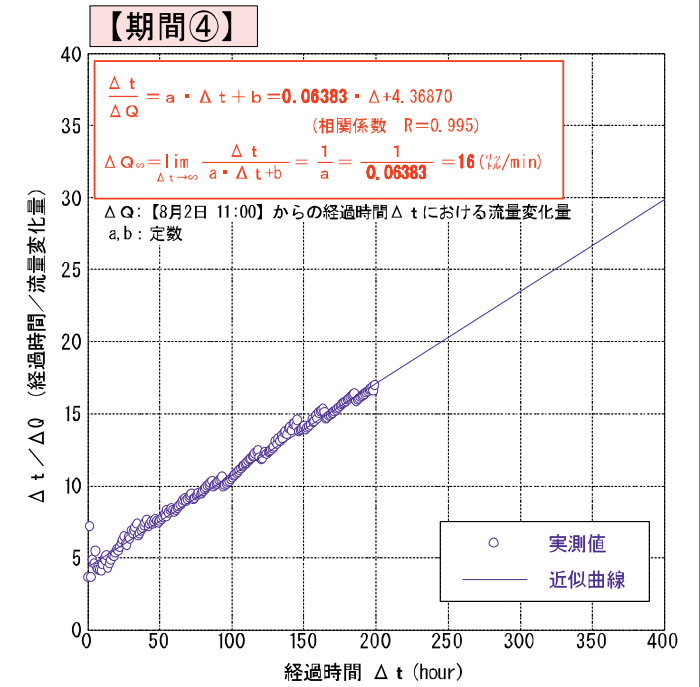
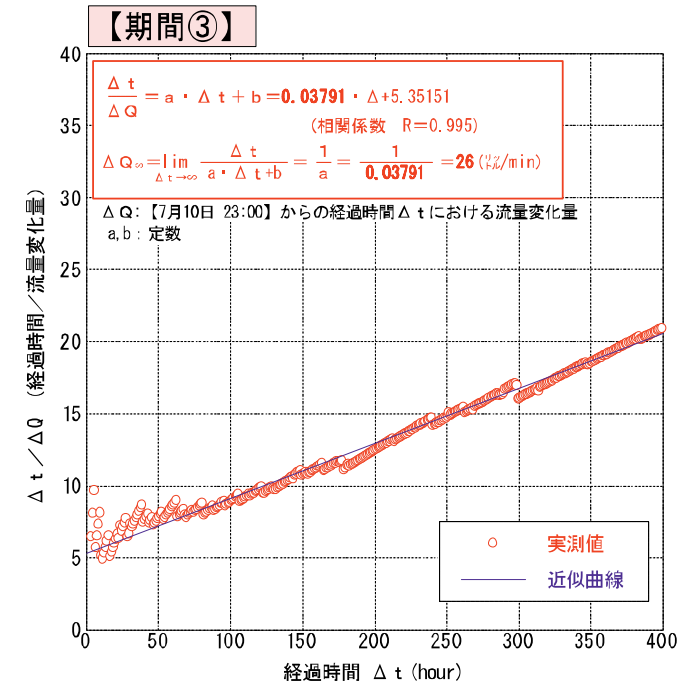
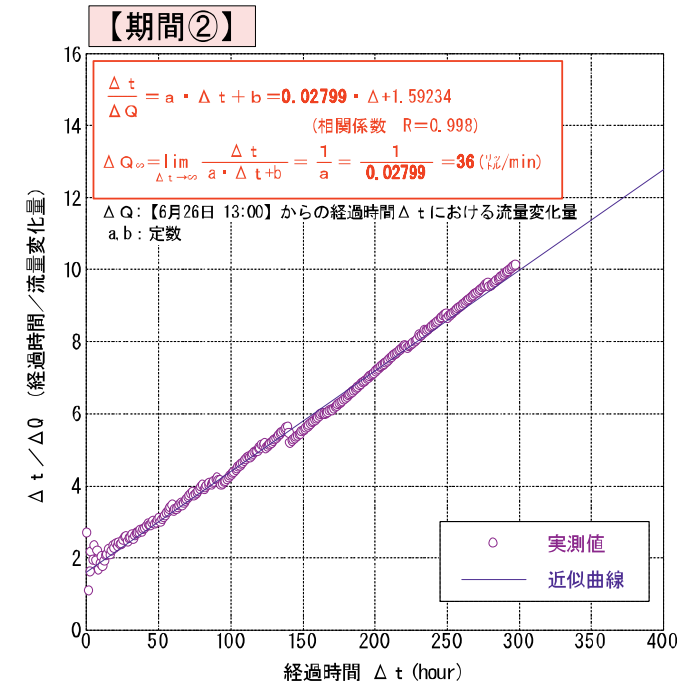
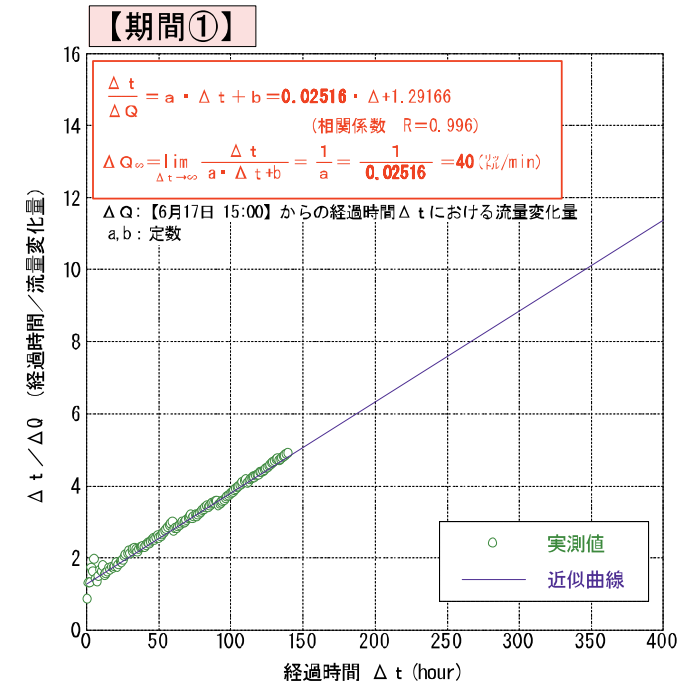
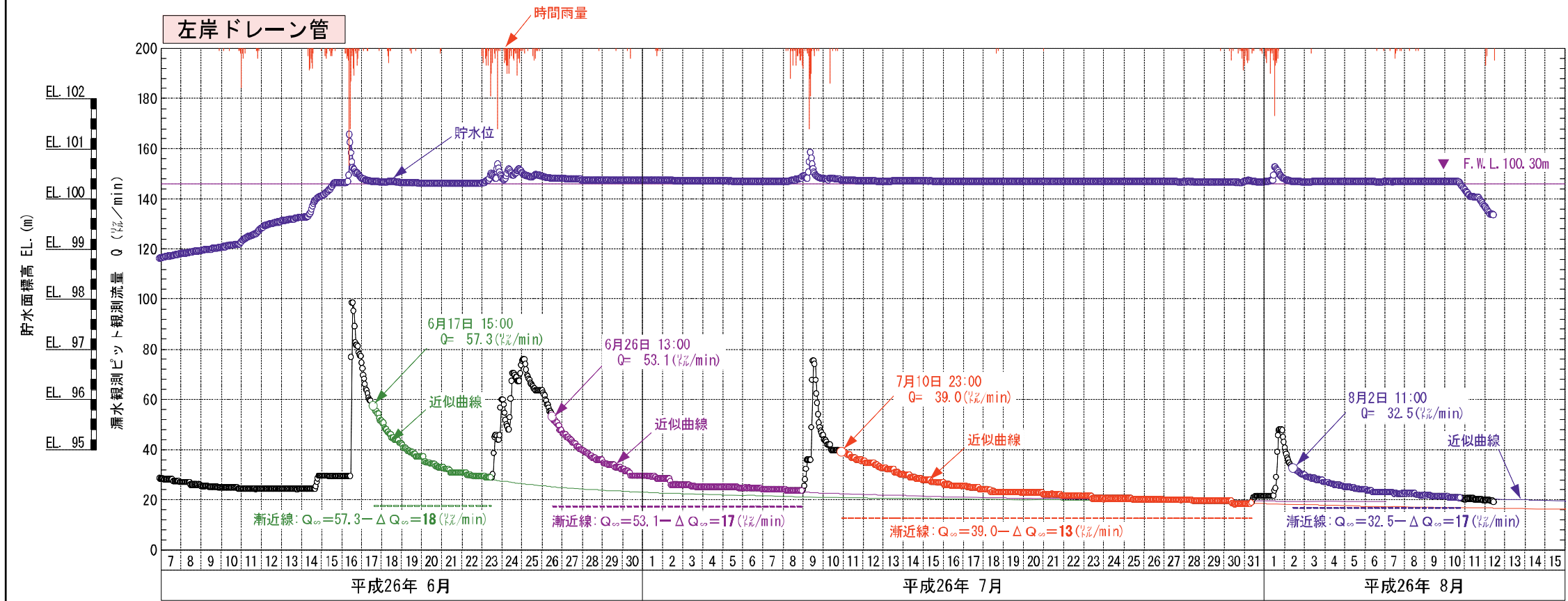


(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
25	平成26年度(H27.1/8)ダム員会資料(4/9) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(2/7)

常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、常時満水位保持期間であり、かつ降雨が停止した以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

- ①: ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②: 本図中に示す河床地山ドレーン、および左岸ドレーン管においては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③: 【図表番号 85】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を同水位条件における[目安値(基準)]とした。

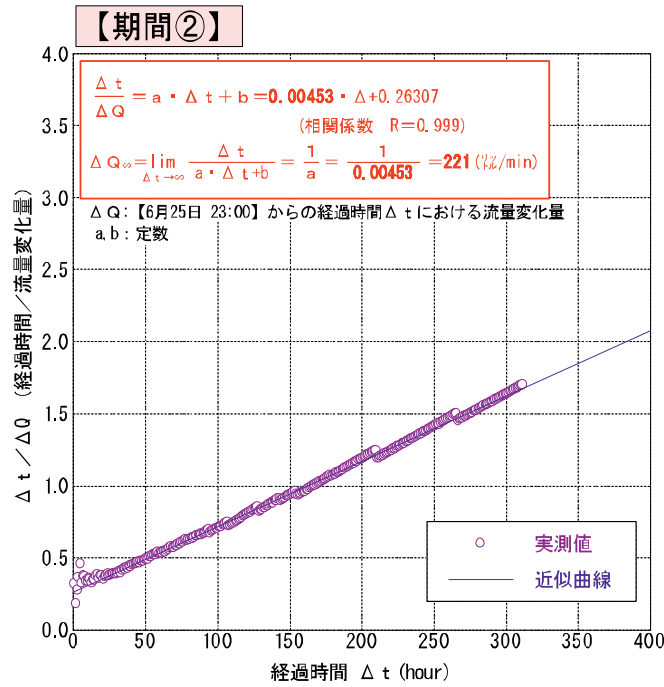
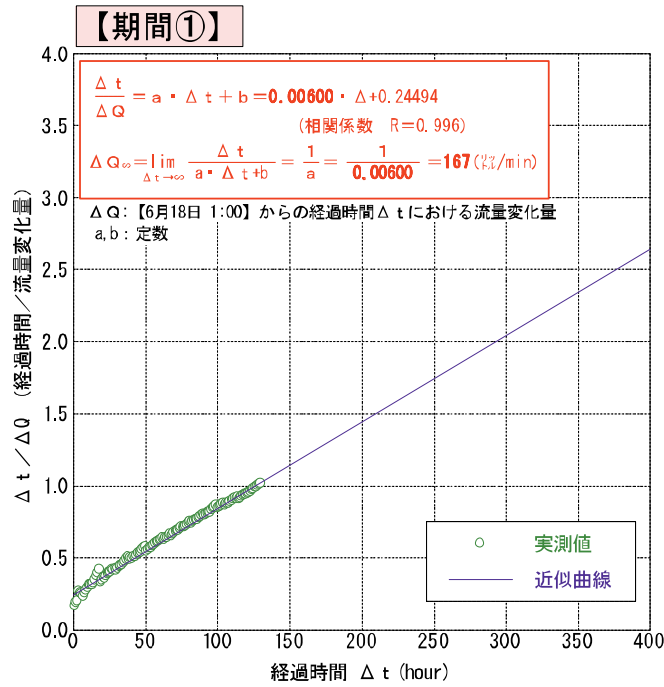
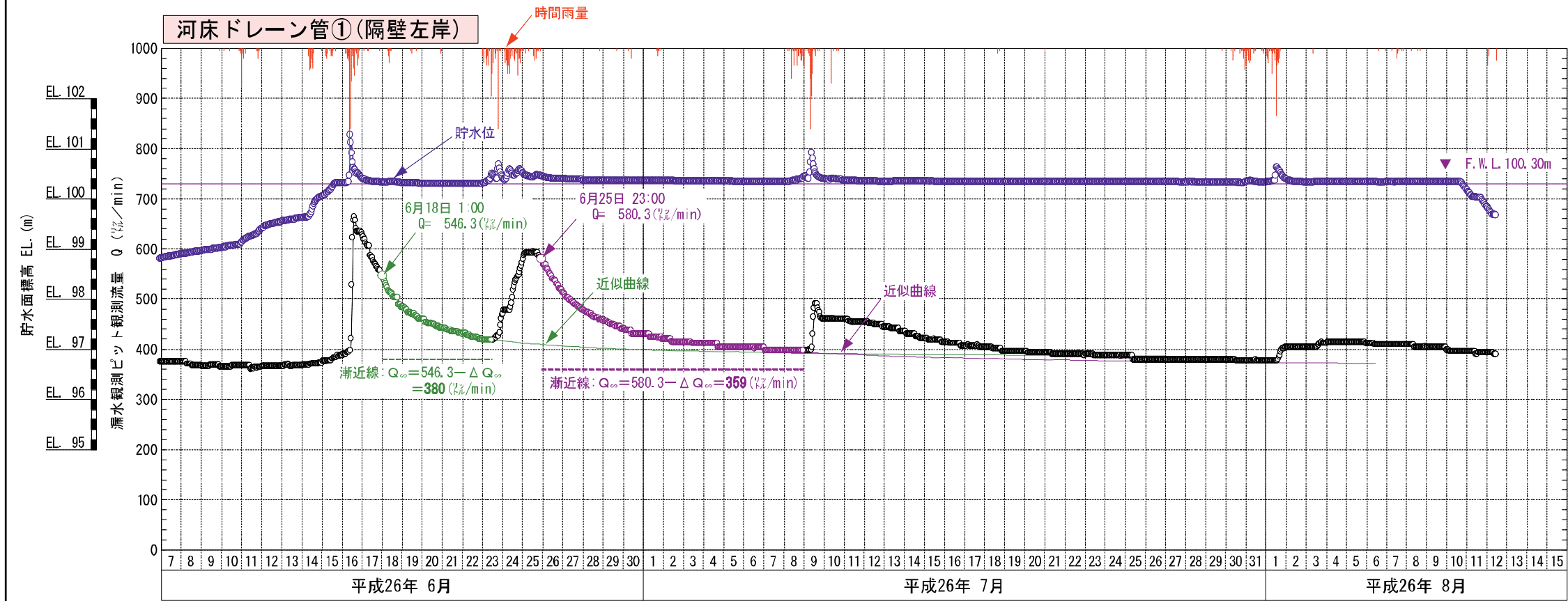


(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
26	平成26年度(H27.1/8)ダム員会資料(5/9) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(3/7)

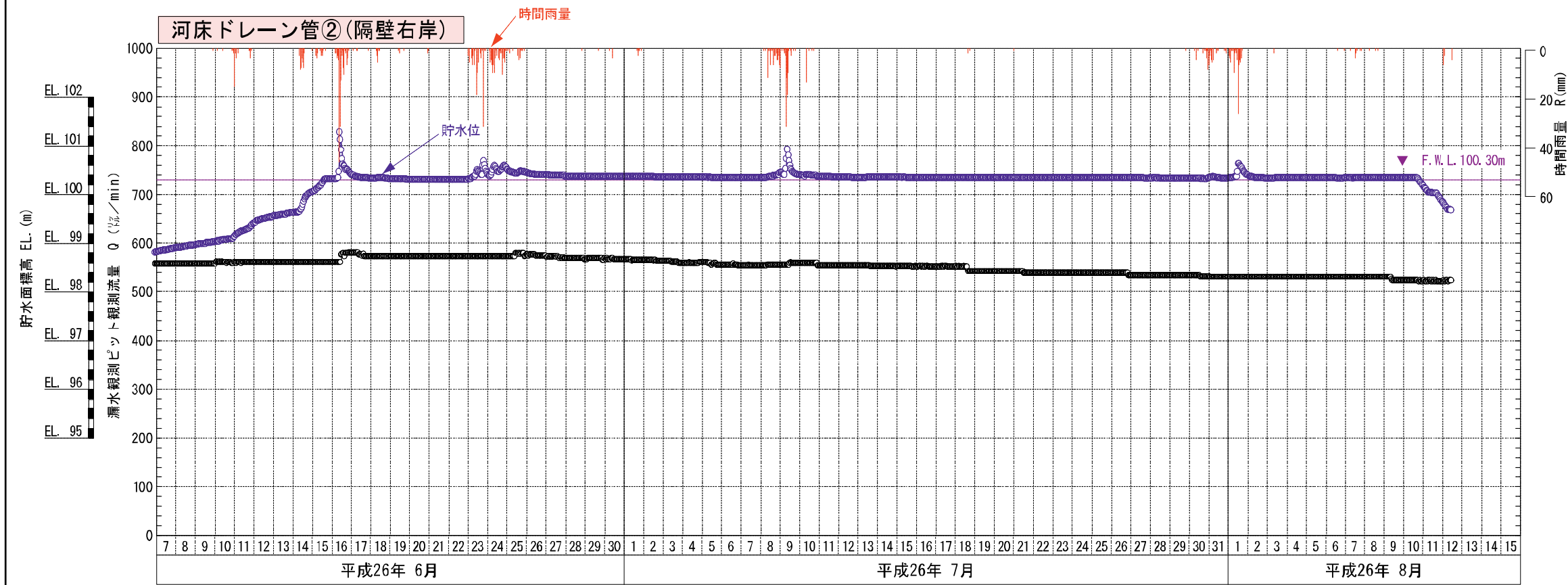
常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、常時満水位保持期間であり、かつ降雨が停止した以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測した。

- ①: ある時刻からの経過時間 Δt と浸透流量の減少量 ΔQ の関係が双曲線関数で近似できると仮定し、経過時間を無限大にした場合の浸透流量減少量の漸近値を求めた。
- ②: 本図中に示す河床地山ドレーン、および左岸ドレーンにおいては、高い相関性で双曲線に近似されており、最終的には図中にそれぞれ[漸近線]として示す流量に収束することが予測される。
- ③: 【図表番号 85】の相関図中には、ここで推定された常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響排除)を同水位条件における[目安値(基準)]とした。



(参考) ロックフィルダムにおける浸透量管理基準の検討事例紹介

図表番号	図表名称
27	平成26年度(H27.1/8)ダム員会資料(6/9) 常時満水位における浸透流量目安値 (降雨の影響を排除)の検討(4/7)



本図表に示す【河床ドレーン②(隔壁右岸)】についても、他の系統と同じく、常時満水位における貯水池浸透流量(降雨の影響を排除)の予測方法として、常時満水位保持期間であり、かつ降雨が停止した以降の浸透流量減少傾向から、貯水池浸透流量を予測しようと試みた。

ただし、この系統では、降雨の影響をほとんど受けておらず、他の系統と同様な検討を行うことができない。

よって【図表番号 85】の相関図中に示す常時満水位における[目安値(基準)]は、常時満水位期間中の観測流量の内、最低値を用いることとした。